

Diacutaneous Fibrolysis, DF (経皮的軟部組織リリース) 研修会のお知らせ

- 総論及び上部体幹・上肢へのアプローチ -

平成 30 年 6 月吉日

薄暑の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度下記の要領にて研修会を開催することとなりました。

経皮的軟部組織リリース (DF) テクニックは、スウェーデンの Kurt Ekman (PT) が開発した筋骨格系の痛みに対する治療手技です。その効果は、術後、外傷後、筋の過用などの原因で生じた軟部組織の異なる滑走面との間に形成された癒着を修正し、痛みや機能障害 (筋出力低下、末梢神経開口部であれば神経症状) を引き起こす潜在的な圧縮を解決します。そのため軟部組織の原因による筋骨格系機能に影響を与える様々な病態の治療において優れた結果をもたらすとされております。近年はサラゴサ大学 (スペイン) 理学療法学科教授、スペイン OMT 協会会長の Dr. Jose Miguel Tricas Moreno による国際コースが滋賀県にて開催されております。今回お招きする講師の河元先生におかれましては OMT-Diploma をはじめ、様々な Manual Therapy を習得されており、DF 国際コース終了後は臨床における効果を強く実感しているとのこと。軟部組織の治療に新しい発想を生む貴重な経験となると思いますので是非ともご参加ください。

- 記 -

【日 時】平成 30 年 7 月 29 日 (日) 9:00~16:00 (受付 08:30~)

【講 師】河元岩男先生

- ・麻生リハビリテーション大学校 理学療法学科 主任
- ・OMPT : Orthopaedic Manual Physical Therapy (Kaltenborn-Evjenth Concept) Diploma
- ・JOMTA : 日本整形徒手療法連盟 理事
- ・DF 国際コース モジュール 1 : 下肢・下部体幹編, モジュール 2 : 上部・上部体幹編終了
- ・国際認定シュロスセラピスト

【内 容】『 DF 総論と上部体幹・上肢 (頸部, 肩周辺, 肘など) へのアプローチ 』

例 : ①腕神経叢の開口部 (僧帽筋, 胸鎖乳突筋の後方縁, 前斜角筋, 中斜角筋, 肩甲挙筋, 板状筋, 最長筋) に対する筋間の癒着の程度の解剖学・力学的評価及びアプローチ (腕神経叢への圧迫除去)

②上腕骨外側上顆炎に対し, 三角筋粗面, 外側筋間中隔, 上腕筋, 腕橈骨筋と連結している筋・組織の癒着の評価及び治療から長・短橈側手根伸筋への治療

※国際コースではフック器具を用いますが, 徒手的にも応用可能です。今回の研修会では徒手的治療を中心に行います。

【会 場】大分中村病院 リハビリテーション室 (※駐車場は近隣の有料パーキングをご利用ください)

【対 象】理学療法士, 作業療法士 (定員 30 名程度 ※先着順)

【受講料】4,000 円

【申 込】件名を「DF 研修会申し込み」とし、氏名, 所属, 職種を記載の上メールにてお申し込みください

mail : haru.aki.u@docomo.ne.jp 担当 : 浦崎 譲 (麻生整形外科クリニック)

【その他】実技もありますので, できるだけ動きやすい服装でお願いします。

以上